

日本グループ・ダイナミックス学会 第64回大会総会 議事録

日時：2017年9月30日（土）12:00～13:00

場所：東京大学本郷キャンパス 法文2号館2階 1番大教室

参加者：75名

総会に先立ち、西田公昭会長、唐沢かおり大会委員長よりそれぞれ挨拶があった。その後、総会議長の選出が行われた。会場からの推薦および立候補者がいなかったため、事務局提案により結城雅樹氏が議長に推薦され、賛成多数で選出された。

【報告事項】

<総務（事務局）>

1. 会員異動・会費納入率について

西道実常任理事より、会員異動・会費納入率について報告された。2017年8月31日の会員数は626名、登録総数は659件、2年以上会費未納者が36名であった。なお、会費納入率は76.8%であった。

2. 名誉会員推戴について

西田公昭会長より、名誉会員の推戴について、本学会の規定では前年度末に既に70歳に達している場合に対象となることが説明され、本年度の該当者はなかったことが報告された。

3. 2016年度決算および三隅賞基金会計報告

北折充隆前常任理事より、2016年度決算について報告が行われた。収入合計8,032,658円、支出合計9,134,200円となり、次期繰越金は9,923,218円であることが報告された。支出超過体質であり、このままでは学会の継続的な運営が難しいため、会員数増加などの対策が必要であることが説明された。

また、2015年度決算監査について、監査担当者の誤りがあったため、再度適正な監査の下で監査を行ったことが報告された。また、昨年度総会で報告した決算と内容に相違ないことも併せて報告された。

4. 2016年度決算会計監査報告

齋藤和志監査より、2017年8月4日に八ッ塚一郎監査とともに中西印刷東京営業所において2016年度決算会計監査を行い、適正に処理されていたことを確認した旨、報告された。

5. 第63回大会報告

山口裕幸前大会委員長より、第63回大会の収支決算報告が行われた。

6. 次期大会（第65回）について

西田公昭会長より、次期大会が神戸大学文学部にて開催されることが発表された。会期は2018年9月8日、9日を予定している。また、大坪庸介次期大会準備委員長より挨拶があった。

<渉外>

7. 日本心理学諸学会連合について

西田公昭会長より、日本心理学諸学会連合社員総会について報告された。公認心理士、心理学検定、などに関する情報が報告された。

8. 2016年度国際化支援制度 補助対象者について

中島健一郎常任理事より、2016年度の国際化支援制度の採用者に関する報告があった。6名の採用者に対して、予算の範囲内で補助を行い、執行されたとの報告があった。

9. 2017年度国際学会発表支援制度 補助対象者について

中島健一郎常任理事より、2017年度の国際学会発表支援制度の採用者に関する報告があった。1名を採択し、航空運賃の半額を補助すると報告された。

<広報>

10. 広報活動について

杉浦淳吉常任理事より、広報活動に関する報告がなされた。会報の発行について報告された。今期の体制になってからの活動として、ツイッターアカウントの作成と運用開始が報告された。

<編集委員会>

11. これまでの刊行状況と今後の刊行予定

三浦麻子常任理事より、「実験社会心理学研究」の刊行状況についての報告がなされた。今期から、受理論文は逐次 J-STAGE に早期公開していることが報告された。57 巻 2 号の掲載予定論文はすでに揃っており、順調に刊行が進んでいることが報告された。

12. 投稿・審査状況

三浦麻子常任理事より、投稿・審査状況について報告がなされた。新規掲載決定論文、却下・取り下げ論文、審査中論文について、年ごとの件数および審査に要した日数が報告された。

13. 「実験社会心理学研究」に関する諸改訂

三浦麻子常任理事より、「実験社会心理学研究」に関する諸改訂について報告がなされた。改訂の趣旨は、現状の機関誌に関わる規程・内規・各種文書の内容に現状に合わないものや、書式の不統一が存在するために訂正や不足情報の追加を行うものと説明された。主な変更点は下記の通りであった。

- ・執筆・投稿規程について
 - －規程の様式を他と統一して条項立てにした
 - －チェックリストの提出を義務化した
 - －論文ジャンルの詳細説明を追加した
 - －投稿時の判型や体裁に関する文言を整理した
 - －付録の添付と公開に関する条項を追加した
 - －第14条（注）に利益相反に関する記述を追加した
 - －英文校閲、校正、別刷、データの保存等、明文化されていなかった事項を条項として追加した
- ・特集編集規程
 - －現状Web上でしか参照できなかったものを文書化した
 - －審査完了期限と超過対応を変更した（ただし、現在進行中の特集には適用しない）
- ・編集・審査規程
 - －文書名が「編集方針・編集体制」であったものを「編集・審査規程」に変更した
 - －チェックリストに関する条項（第3条）を追加した
 - －剽窃チェックに関する条項（第5条）を追加した
 - －現状の審査過程と齟齬がある個所について、現状に合わせて文言を訂正した
 - －審査者追加および論文種別変更勸奨に関する文言を追加した
- ・チェックリスト
 - －利益相反に関する事項を追加した
- ・著作権譲渡に関する同意書
 - －新設された。受理後に著者に提出を求める

<その他>

14. 優秀論文賞の選考結果

三浦麻子選考委員長より、2016年度優秀論文賞の選考について説明がなされた。実験社会心理学研究56巻1号および2号の掲載論文について、厳正な審査の結果、下記の2編の論文に優秀論文賞を授与することが決定されたことが報告された。

樋口収・下田俊介・小林麻衣・原島雅之（2016）. 行動免疫システムと福島県近隣の汚染地域の推定との関連 実験社会心理学研究, **56**, 14-22.

日比野愛子（2016）. 生命科学実験室のグループ・ダイナミックス：テクノロジカル・プラトールからのエスノグラフィ 実験社会心理学研究, **56**, 82-93.

15. 2016年度優秀学会発表賞の結果報告

有倉巳幸常任理事より、2016年度第63回大会における当該賞の選考経過および結果について報告がなされた。

規定に基づき、ショート・スピーチ、ロング・スピーチ、ポスター発表、及びEnglish sessionの各部門について選考委員による事前投票を行った。集計の結果、各部門における上位の発表がノミネート発表となった。大会当日、ノミネート発表の発表状況を審査し、受賞者を決定したとの説明があった。

16. 2017年度優秀学会発表賞の選考経過

有倉巳幸常任理事より、2017年度第64回大会優秀学会発表賞選考の進捗状況についての報告があった。現在、ショート・スピーチ、ロング・スピーチ、ポスター発表、及びEnglish sessionの各部門において二次審査対象者が決定し、審査者による審査を実施する予定とのことであった。大会終了後に審査結果を集約して受賞者を決定する。

17. 学部学生の大会発表について

西田公昭会長より、学部学生の大会発表に関する検討状況について報告がなされた。学部学生を含む準会員制度の創設が前期常任理事会より引き継がれていたが、発生しうる問題点についての検討が十分ではないため、当面は準会員制度の新設は行わない方針であることが報告された。学部学生の大会発表について大会時に開催校の意向があった場合には、その費用を常任理事会企画費から支出する方針であることが説明された。

18. 会員管理システムe-nafについて

西道実常任理事より、会員管理システムe-nafの運用について説明された。名簿機能は既にe-nafに置き換えており、選挙台帳の選挙区等の基礎情報としても活用するため、情報更新は適宜行っていたらよい各会員に依頼された。

【審議事項】

<総務（事務局）>

1. 2017年度予算案について

西道実常任理事より、2017年度予算案について説明があった。収入について、会費収入は2017年3月の会員数と前年度実績に基づいて算出された。その他の収入の費目については、過去数年の実態に合わせて修正を行った。

支出について、従来は余裕のある予算を立て、執行段階で精査するという方針であったが、近年の支出超過の状況を受けて、予算の段階から実態に即した策定をしたことが報告された。その結果、支出合計は昨年度予算に比べて約230万円減少しているが、なお年間で約190万円の繰越金取り崩しが生じる見込みであり、財務体質の改善が急務であることが説明された。

審議の結果、予算案は異議なく承認された。

<編集委員会>

2. 「実験社会心理学研究」 Short Noteの新設について

三浦麻子常任理事より、「実験社会心理学研究」に新カテゴリとしてShort Noteを新設することが提議された。Short Noteは掲載時4ページ以内の英語論文のみ受け付け、既公刊の研究成果の再現性検証などの速報性を重視したカテゴリであり、審査も原則として初稿の査読で採否を決定することが説明された。審査の速い英語論文のカテゴリを作ることで、雑誌の魅力を高めることが趣旨であると説明された。審議の結果、異議なく承認された。

<その他>

3. Short Note新設に伴う会則等の改訂について

西田公昭会長より、Short Note新設に伴う会則の改訂について提議され、審議の結果異議なく承認された。

併せて、三浦麻子常任理事より機関誌関連の諸規程にShort Noteカテゴリに関する記述を追加することが提議され、異議なく承認された。

審議終了後、総会定足数は314名であり、本総会の出席者は75名であるため、未達により仮総会となることが結城雅樹議長により宣言された後、閉会した。閉会后、2016年度優秀論文賞表彰式が行われ、西田公昭会長より賞状と目録の授与が行われた。

以上